

加茂まちづくり推進委員会

委員長 小林 弘志

（問合せ先） 084-972-5541（加茂交流館）

事業内容

- (1) 第27回加茂ふれあい文化祭（11月12日）
- (2) まちづくり事業の広報活動（通年）
- (3) まちづくり推進委員会運営事業（通年）
- (4) コミュニティ育成事業（通年）
- (5) 加茂まちづくり功労者表彰（11月12日）
- (6) 第15回加茂知っとる検定（2月9日、10日）
- (7) 史跡めぐり（1月27日）
- (8) 子ども会書道大会（11月3日）
- (9) 芸術鑑賞会（9月16日）
- (10) 親子で楽しめるイベント開催（12月17日 グラウンドゴルフ）
- (11) 第15回加茂学区駅伝・マラソン大会（11月25日）
- (12) しめ縄づくり（12月23日）
- (13) お年寄りをお招きする会（3月12日）
- (14) 見守り活動
 - ・通学路への交通安全の旗の設置・交換
 - ・通学路危険箇所への看板設置
 - ・安全確保対策メール配信システム登録依頼の
ちらしを自治会加入世帯全戸に配布
- (15) 花いっぱい運動（6月3日、12月2日）
- (16) 環境保全対策
（啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布、啓発看板の設置）
- (17) グラウンドゴルフ大会（9月14日、10月17日）
- (18) 「ペタンクゲーム」を楽しもう（10月7日）
- (19) 健康福祉講座
 - 8月19日 救命救急法講習会、9月28日 健康づくり講座
 - 2月24日 認知症講座（成年後見制度の理解と推進・認知症についての講座）
- (20) 高齢者が多くの人とふれあえる場の提供
（10月4日 グラウンドゴルフ大会）
- (21) お出かけ支援事業の検討
（買い物支援に関するアンケートの実施）
- (22) 地域のeyeさつ運動
（小学生が運動のためのポスターを作成）
- (23) 地域におけるデジタル化の推進
 - 1月21日、2月18日、2月25日
 - デジタル講習会（3回連続）
- (24) つれのうていい～かもnight
（毎月第4火曜日 多様な世代が集まり対話できる場所づくり）



第15回加茂知っとる検定（2月10日）



花いっぱい運動（6月3日）



健康福祉講座（救命救急法講習会）

成 果

コロナ禍明けとなった今年度は、まちづくり計画終了後の「まちづくり」の方向性に基づき、各主管団体が、従前のように自主的・主体的に活動し事業に取り組めた。ふれあい文化祭については新しく加茂学区になった山野町とも連携し、4年ぶりに通常開催とした。また、お出かけ支援事業について買い物支援に関するアンケート調査を行い、試行的運用に向けたスケジュールを決定することができた。

課 題

- ・時代の変化に対応した組織づくりや、事業実施団体の次世代育成が必要である。
- ・ふれあい文化祭について開催時期や他行事との連携など検討する必要がある。
- ・お出かけ支援事業について、本格運用に向け事業計画・管理運営規約などを策定する必要がある。

課題解決にむけて

- ・「スマイル up 加茂」などの若い世代を中心に持続可能な対策を考えていくとともに、新規事業「大規模事業の在り方検討」において、主要な行事等が持続可能な行事となるよう事業の開催規模や他行事等との連携を検討していく。
- ・お出かけ支援事業について、社会福祉法人・北部地域振興課等を含め実行委員会で試行運用の状況を検証し本格運用に向けた取り組みを進める。

「加茂ふれあい文化祭」4年ぶりの通常開催！

2023年（令和5年）11月12日（日）、加茂中学校において「第27回加茂ふれあい文化祭」を開催しました。

加茂まちづくり推進委員会ではコロナ禍の中でも何かできることはないかを考え2020年から「ふれあい文化祭作品展」として交流館（公民館）を会場に作品展のみ開催してきましたが4年ぶりに芸能大会・模擬店・こどもの国（バルーンアート他）・福引抽選会も復活し大変な賑わいをみせ多くの方々にご来場いただきました。



また、2023年度は学校再編により山野町が同じ学校区となって初めての開催ということもあり、山野町からも芸能大会への出演・模擬店出店のご協力をいただき、新たな地域の交流の場にもなりました。次年度も地域の人たちが楽しめる場、ふれあえる場となるよう開催内容について協議をしながら「ふれあい文化祭」を開催していきたいと思っております。